

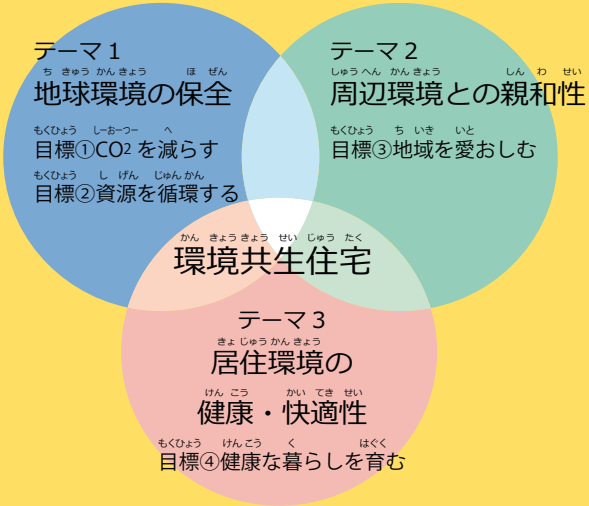


環境共生住宅とSDGs

住まいと暮らしから 環境問題の解決方法を探そう！

一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

環境共生住宅とは？



環境共生住宅とは、「地球にやさしく、まわりの環境と親しみながら、みんなが気持ちよく暮らせる、住まいとまち」のことです。

でも実は「環境共生住宅」に決まった形はありません。

その家がある地域の気候風土や住む人の暮らし方にあった、それぞれの環境共生住宅があります。

環境共生住宅の3つのテーマと4つの目標

テーマ1
地球環境の保全
Low Impact

目標①

CO₂を減らす

- 生活の中で使うエネルギーを減らす工夫
- 自然や未利用のエネルギーをいかす工夫

目標②

資源を有効に使う

- 長く住めるような家にする工夫
- 資源の循環利用をすすめ、ゴミを減らす工夫

テーマ2
周辺環境との親和性
High Contact

目標③

地域を愛おしむ

- まわりの自然や人と家や暮らしがにつながる工夫
- 地域らしさをとり入れ家をまちになじませる工夫

テーマ3
居住環境の健康・快適性
Health & Amenity

目標④

健康な暮らしを育む

- こころとからだ、健康でこころよく暮らせる工夫
- 安心して暮らせる、安全な家やまちにする工夫

世界のいろんな国や場所で起こっている、さまざまな環境問題。その多くは、じつは私たちの暮らしとつながっていることを、みんさんは知っていますか？

環境共生住宅は、家やまちづくりをとおして、さまざまな環境問題を解決しようと考えられたものです。環境にやさしく、住む人がもっと心地良く暮らせる家やまちになるよう、環境と共生する工夫を行います。



ケロリ

SDGs（持続可能な開発目標）とは？

誰ひとり取り残されることなく、人類が安定してこの地球で暮らし続けることができるように、世界のさまざまな問題を整理し、解決に向けて具体的な目標を示したのが、SDGs（持続可能な開発目標）です。

2015年に国連で採択され、国際社会は一致団結して、2030年を目指してこの目標を達成しよう、と合意しました。

SDGsには、世界を変えるための17の目標があります。

あらゆる形の貧困を世の中からなくし、不平等とたたかい、気候変動に対処しながら、「誰ひとり取り残さない」ための取り組みです。

2016年から本格的な取り組みが始まり、2030年を目標の達成期限にしています。

（日本ユニセフのWEBサイトより）



環境共生住宅と SDGs

環境共生住宅は、3つのテーマと4つの目標をかけた、その目標を達成するための工夫、環境と共生するための工夫を組み合わせで考えられた住まいです。

環境と共生するための工夫は、「持続可能な開発目標 /SDGs」の目指す17の持続可能な開発目標を達成するためにも役立ちます。

右側の表では、環境共生住宅の掲げる3つのテーマと4つ目標に関連するSDGsの開発目標を示しています。

テーマ1 地球環境の保全	関連する SDGs の開発目標
目標① CO₂ を減らす <ul style="list-style-type: none"> 生活の中で使うエネルギーを減らす工夫 自然や未利用のエネルギーをいかす工夫 	
目標② 資源を有効に使う <ul style="list-style-type: none"> 長く住めるような家にする工夫 資源の循環利用をすすめ、ゴミを減らす工夫 	
テーマ2 周辺環境との親和性	関連する SDGs の開発目標
目標③ 地域を愛おしむ <ul style="list-style-type: none"> まわりの自然や人と、家や暮らしがつながる工夫 地域らしさをとりいれ、家をまちになじませる工夫 	
テーマ3 居住環境の健康・快適性	関連する SDGs の開発目標
目標④ 健康な暮らしを育む <ul style="list-style-type: none"> こころとからだ、健康でこころよく暮らせる工夫 安心して暮らせる、安全な家やまちにする工夫 	

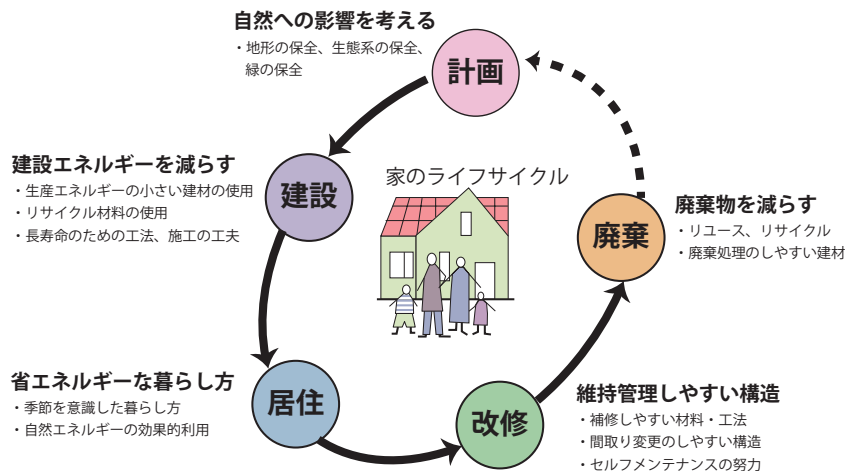
環境共生住宅の3つのテーマ

テーマ 1 地球環境の保全

地球環境にやさしい家づくり



私たちの家は、建てる時も、「住まい」として機能している時も、常に地球の限られた資源やエネルギーを消費し、最後には廃棄しています。地球環境の質をより良いものにしていくために、ひとり一人が、家自体のライフサイクルを見据えて、環境に負荷をかけない「住まい」づくりに取り組む努力が求められているのです。地球に「住もう」一員として、資源やエネルギーを有効に、いつまでも使い続けていくための方法を考えてみましょう。



テーマ 2 周辺環境との親和性

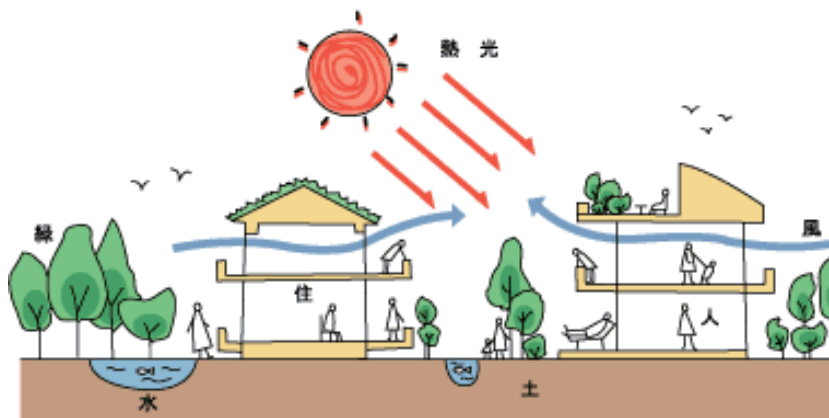
周りの環境と親しむ住まい方



市街地であっても田園地帯であっても、そこには必ず植物や動物などの生き物がいて、自然の循環のしくみがあり、人が受け継いできた歴史や文化があります。

そうした周辺環境を切り離し、閉鎖的な人工環境をつくるのではなく、その土地のもつ特性を理解し、住まいの「内」と「外」をうまく共生させていくことが、本当の意味での「住まい」づくりへとつながります。

また、地域全体を「住まい」と捉え、「住まい」を共有する近所の人々とのつながり方を育てていくことも、環境共生住宅が大切にしたい「住まい方」の工夫のひとつです。



テーマ3 居住環境の健康・快適性

健康で快適な住まい



住む人にとって魅力的な空間であり、快適に過ごせる場所であること。その条件はライフスタイルや考え方により様々ですが、「住まい」が毎日の生活の基盤であり、安らぎの場所である限り、健康で快適な場所であってほしいことに変わりありません。乳幼児から高齢者まで、誰もが健康で快適な生活をおくれること。室内のバリアフリー化に加え、温熱環境や室内空気質など、目に見えない環境が与える影響にも配慮すること。家の建て方だけでなく、住まい方にもひと工夫が必要です。



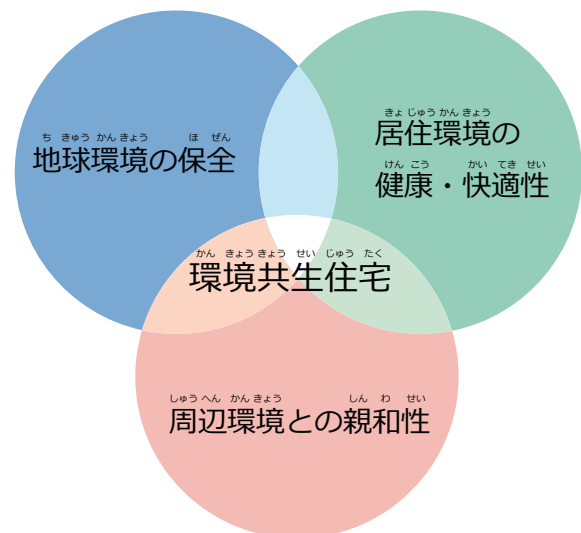
三つの輪が重なりあって 「環境共生住宅」はできています。

「地球環境にやさしい」「周辺環境と親しむ」「健康で快適であること」という3つの考え方が、環境共生住宅の基本となるものです。

これらは一つひとつも重要ですが、3つが重なりあい、調和していくことが、もっとも大切なことです。

快適性ばかりを重視したり、環境に配慮しすぎたあまり、快適性が損なわれたりしては意味がありません。

私たちが住まう環境全体が、より良いものになるために、「環境共生住宅」という考え方があるのです。



環境共生住宅を支える4つの目標とその工夫

kkj★KIDSで公開している「くまの家 ものがたり」は、3匹のくまの兄弟が、それぞれに興味のあることを入口に、家族で暮らすための「環境共生住宅」を考えていくお話です。

物語の中に登場する「つなぐストーリー」では、環境共生住宅を支える4つの目標に関する工夫や取組みを紹介しています。

タブレットを使って、おうち・おにわ・まちの中でできる工夫や取組みはどんなものがあるのか調べてみましょう。



くまの家 ものがたり
<https://www.kkj.or.jp/contents/kuma/index.html>



テーマ1 地球環境の保全

目標① CO₂を減らす



 をクリックすると、詳しい情報を見ることができます。



夏は涼しく、冬暖かく
春秋は快適に



部屋を明るく



エネルギーを創る



エネルギーの使用を
少なくする

おうち



- 断熱性能を高める
- 夏は風を通し、熱気を逃がす
- 太陽の熱を夏は通り、冬は取込む
- 太陽の光を室内に取り入れる
- 太陽光で発電する
- 太陽熱で給湯・暖房する
- その他の自然エネルギーを利用する
- 効率の良い省エネルギー型設備や家電機器を使う

おにわ



- 庭の微気候を整える
- 太陽光発電の外灯などを使う

まち



- 地域の微気候を整える
- 太陽光で発電する
- その他の自然エネルギーを利用する

テーマ 1 地球環境の保全 目標②資源を有効に使う



をクリックすると、詳しい情報を見ることができます。



長く使い続ける



資源を大切に



水を大切に使う



ゴミを減らす



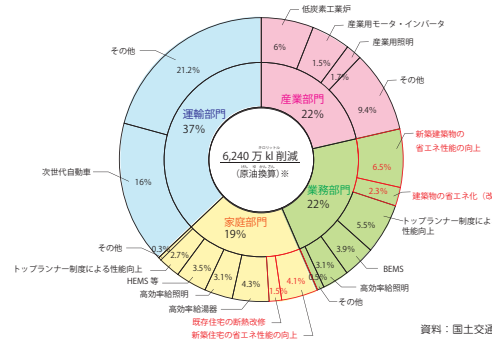
家づくりと地球温暖化はどんな関係があるの？



くまた

家の省エネ性能や断熱性能をアップすると、温室効果ガスの削減につながるよ

地球温暖化対策計画における2030年度46%削減目標の原油換算



地球温暖化対策計画で示された「2030年度46%温室効果ガス削減目標」は、原油で考えて6,240万kl(キロリットル)の削減を目指している。この中から「家づくり」や「暮らし」に関する項目は、業務部門では、「新築建築物の省エネ性能の向上」で6.5%、「建築物の省エネ改修」で2.3%、家庭部門では、暮らしに直結する「新築住宅における省エネルギー性能の向上」と「既存住宅の断熱改修」だけでも全体の約5% (削減量344万kl)を占めているよ。

家の省エネや断熱性能がアップすると、温室効果ガス削減目標46%のうち、約3割の達成につながるんだ！



テーマ 2 周辺環境との親和性

目標③ 地域を愛おしむ



 をクリックすると、詳しい情報を見ることができます。



まちなみ景観
を楽しむ



生き物とふれあ
いを楽しむ



「周辺環境との親和性」は、
どんな意味なんだろう。



家のまわりの環境と仲良くなるために、まずは家の外にも目や関心を向けてみよう！



「周辺（しゅうへん）環境」は、家のまわりの環境。「親和性（しんわせい）」は、お互いに仲良くなること。つまり「家のまわりの環境と仲良くなるよ」という意味だよ。

まちの緑は、住宅の庭や街路樹、公園など色々な場所の緑でできている。自分の家と庭、そして自分の家とまちの緑とのつながりを意識してみよう。

緑を多く植えることは、とっても良いことだけど、どんな緑を庭に植えようかと考える時に、まず自分の家がたつ場所や、まわりの環境を調べて、その地域や土地にあった木や草花を植えると、家の庭とまわりの環境が、もっと仲良くなれるよ。



テーマ3 居住環境の健康・快適性

目標④健康な暮らしを育む



 をクリックすると、詳しい情報を見ることができます。

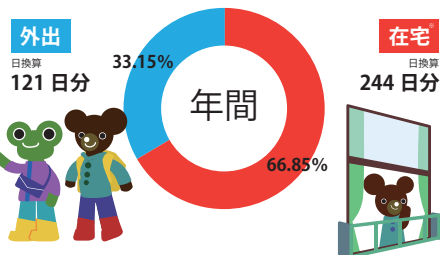


居住環境の健康・快適性ってどんなこと？



ふだん暮らす場所の環境を気持ちよく、安心してすごせるようにしよう！

一年間のうち、
家で過ごす時間は約 67%



※在宅（でいなく）：外出せずに、自分の家にいること。

出典：NHK 放送文化 - 国民生活時間調査報告書内データを基に計算

ふだん暮らす場所の環境を気持ちよく、安心してすごせるようにしようというのが、「居住環境の健康・快適性」で目指していることだよ。

家を建てる材料が安全・安心なのはもちろん、快適にすごせるように、冬あたたかく、夏すずくなる工夫や、いろいろな人が使いやすいように形や素材を工夫することも大切にしたいね。

それから、安心して暮らすために、地震や台風などの自然災害や泥棒に入りにくくするなど、防災や防犯についても考えてみよう。





SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

kkjは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

環境共生住宅と SDGs

名前



どんな環境共生住宅に住みたいか考えてみよう！



STEP

1

これまでに学習したことを思い出しながら、自分で取り組んでいきたいと思う環境共生住宅の工夫を考えてみよう。

環境共生住宅の テーマ	環境共生住宅の 目標	あなたの考えた工夫
テーマ1. 地球環境の保全	①CO ₂ を減らす	
	②資源を循環する	
テーマ2. 周辺環境との 親和性	③地域を愛しむ	
テーマ3 居住環境の 健康・快適性	④健康な暮らしを 育む	

STEP

2

班やクラスの仲間とそれぞれが選んだ工夫や、その工夫を選んだ理由を話し合ってみよう。

STEP

3

自分の選んだ工夫と他の人の選んだ工夫を合わせると、どんなふうに環境をよくすることができるか、考えてみよう。

STEP

4

2030年にむかって、どんな家やまちに暮らしていきたいか、想像してみよう。

STEP

5

自分の住みたい家やまちづくりは、SDGsのどの目標の達成につながっていくかな。アイコンに○をつけてみよう。

